



予冷库・選果場だより No.3

ほうれん草専門部会・トマト専門部会
キュウリ専門部会・ミディトマト専門部会・タマネギ部会

6月の好天から一転、7月は荒い天候模様となりました。上旬：多雨(平年比173%)、中旬：日照不足(平年比73%)で経過しました。7月の青果物の出荷状況は、6月の前進出荷の影響もあり、出荷が減少した品目もありますが、合計荷受け重量は296t(前年比101%)でした。予冷库・選果場の主要品目について、集荷状況を報告を致します。

1. 予冷库・選果場稼働状況(7月実績)

7月の出荷量は、軟弱類(葉菜)、果菜類(大玉トマト)とも少ない状況でした。軟弱類(葉菜)は平年より高い気温により出荷減、また、果菜類(大玉トマト・ミディトマト)の選果場の稼働は、概ね7月で終了しました。

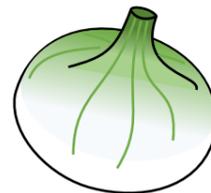
地区	施設区分	R3		R4		前年比	
		荷受重量(kg)	販売金額(円)	荷受重量(kg)	販売金額(円)	荷受重量(kg)	販売金額(円)
北部	予冷库	5,792	1,199,902	1,718	690,486	29.7%	57.5%
中央	予冷库	19,518	8,477,784	16,307	9,036,522	83.6%	106.6%
	選果場	115,188	30,528,027	82,050	20,206,184	71.2%	66.2%
西部	予冷库	7,966	4,484,754	8,328	4,671,161	104.5%	104.2%
	選果場	4,762	3,490,967	5,411	3,992,026	113.6%	114.4%
永平寺	選果場	139,640	7,819,840	182,860	12,434,480	131.0%	159.0%
合計		292,866	56,001,274	296,674	51,030,859	101.3%	91.1%

- 西部予冷库：金福スイカ(銀福スイカ)の販売高4,526千円(前年比106%)
- 永平寺選果場：タマネギの選果・販売は、6~7月で終了しました。

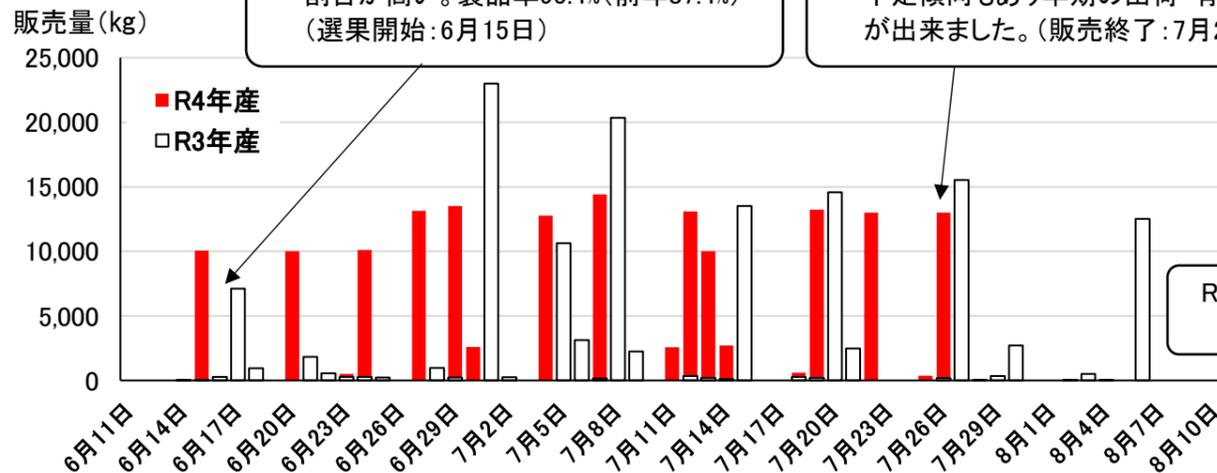
2. タマネギ選果場稼働実績

タマネギ

令和4年産タマネギの生育は、越冬前までは前年よりも大きく経過しましたが、越冬後は積雪期間が長かったことで前年よりも小さい状況でした。また、5月以降は定期的な降雨により肥大が促進し、大玉傾向で収量増となりました。令和4年産タマネギの集荷販売は、集荷数量182.8t(前年比131%)販売高12,434千円(前年比159%)の好成績で終わりました。



販売数量



● 選果状況
本年産は加工用の出荷規格M以上の割合が高い。製品率95.4%(前年87.4%)(選果開始:6月15日)

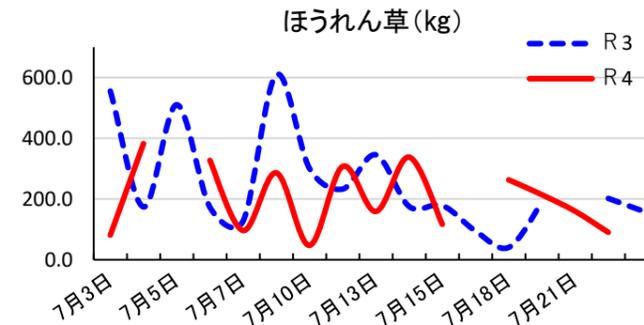
● 出荷(販売)状況
好天の影響で早期集荷となり、市場の不足傾向もあり早期の出荷・有利販売が出来ました。(販売終了:7月26日)

R3 販売終了
9月2日

3. 予冷库稼働実績

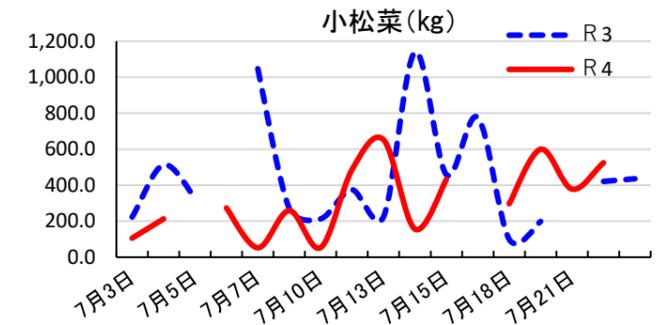
販売数量(7月)単位:kg

品目名	R3	R4	前年比
ほうれん草	4,850	3,460	71.3%
小松菜	9,248	7,753	83.8%
みず菜	1,174	864	73.6%



【市場情報】

大阪本場の7月単月でのほうれん草の入荷数量は138t(前年比106%)、単価790円/kg(前年比111%)となっている。8月17日単日で見るとほうれん草の入荷数量は18.1t(前年比169%)、単価933円/kg(前年比129%)で推移しています。この時期の販売状況は、毎年、生育不良で入荷数量が少ない。不足感出により相場は強持合。



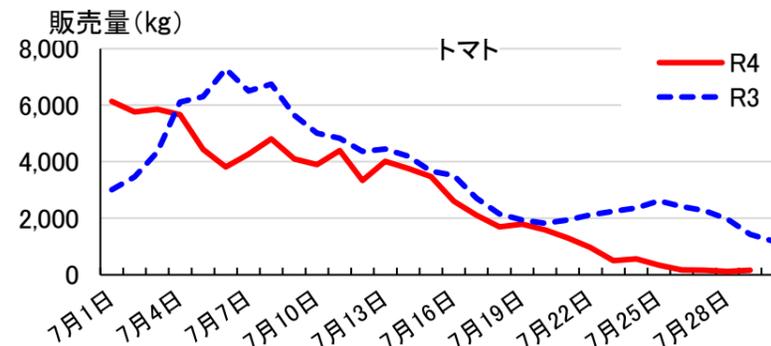
4. 選果場稼働実績

大玉トマト

7月の実績は、販売数量81.7t(前年比75%)、販売高20,175千円(前年比67%)でした。前月の好天で前進出荷した分、今月の出荷数量が減少しました。

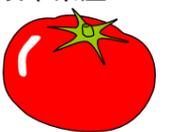
販売数量(7月)単位:kg

等級/階級	4L	3L	2L	L	M	S	合計	前年比
秀	51	2,470	6,517	15,754	13,040	4,787	42,619	114%
優	256	2,918	4,095	9,149	9,289	4,166	29,872	56%
良	314	1,433	1,345	2,669	2,516	1,015	9,293	50%
合計	1,041	7,049	6,311	7,512	3,610	903	81,784	75%



【市場情報】

福井県産の出荷は終了し、現在は岐阜県産の入荷で日量1000~1300ケースが続いている。販売はL・Mサイズが中心で堅調傾向。今後はさらに小玉傾向になる見込み。東北・北海道が天候不順で出荷が遅れていることで岐阜県産が中心の入荷となる。

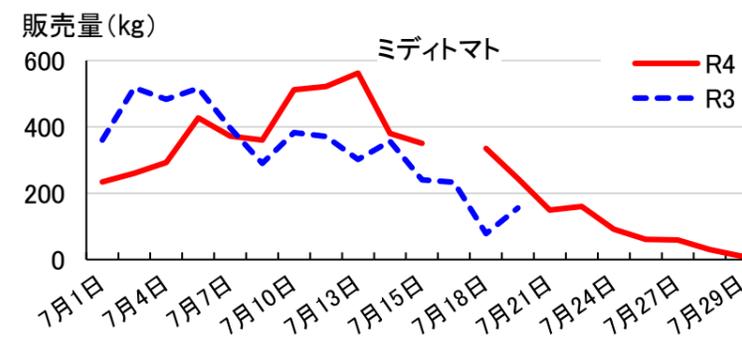


ミディトマト

7月の実績は、販売数量5.4t(前年比113%)販売高3,992千円(前年比112%)でした。出荷増は、6月の出荷が前年比76%であったことから、今年産は後進出荷になったと見られます。

販売数量(7月)単位:kg

等級/階級	2L	L	合計	前年比
秀	806	4,605	5,411	113.6%



【市場情報】

福井県産のミディトマトの入荷はあまり無く、あれば売れるといったところ。9月に入ると安い愛知・熊本産の中玉トマトが増え、低価格帯で引っ張られる見込み。

